大きく変貌し、地域の盛衰にも差が出た荒川区。西川区政の「幸福実感都市」はこのままで良いのか

斉藤　裕子（元気クラブ）

11か所に308億円の補助金。再開発依存をやめて心安らぐ街を

問 町屋駅前や日暮里周辺では風で転倒やケガも出て危険な状態だ。実態を調査して安全対策をすべき。

答 高層建築物周辺の風環境の変化は認識しており、新たな技術についても調査研究していく。

問 三河島北地区や西日暮里駅前の計画をまだ続けるつもりか。

答 再開発による街づくりをめざし、地元と協議してすすめたい。

区内の商工業は苦しい状況が続く。有効な支援策はすぐに実行を

問 区の支援は地域経済の衰退に歯止めをかけられたと思うか。

答 MACCプロジェクトや個店への支援策で効果が出ている。

問 空き店舗を直接区が借り上げ、休憩所などに活用して、新住民にも支持される商店街にしてほしい。

答 休憩スペースの設置への支援等、必要な支援を実施している。

問 税制や規制緩和等、中小事業者を苦しめる国の政策には、区として明確に意思表示をすべきだ。

答 必要に応じ国等に申し入れる。

その他の質問項目

○この間の行財政改革の効果を検証し、改めるべきは改めよ。

社会を歪める「男女共同参画」ではなく、「男女の特質を踏まえた社会」を通しての幸福及び日本国の自治体としての矜持を持つ荒川区に

小坂　英二（日本創新党）

「男女の特質を踏まえた社会」を通しての幸福を

問 区の「女性の社会参加促進」には歪んだ価値判断があり、各種の女性割合に対する数値目標設定は有害だ。女性を賃金労働の場に放り出すのでなく、安らぎのある家庭を生み出すことを考えるべき。

答 全ての人が個性と能力を十分に発揮できる社会を目指しており、その方向等を示す指標として、数値を定める場合もある。

日本国の自治体としての矜持を持つ荒川区に

問 国民健康保険、生活保護等での外国人への過剰サービスは見直すよう、国に異議申し立てすべき。

答 国民健康保険制度で、日本人と異なる扱いは困難である。生活保護は、国の通知に基づいている。

問 国旗掲揚について、掲揚ポールのある区施設は平日も実施し、学校では各教室内でも実施すべき。

答 本庁舎、学校以外では、国の通知があった場合に掲揚している。学校では、旗等等に掲揚しており、各教室へ掲揚する考えはない。

その他の質問項目

○区は北朝鮮の出先機関である朝鮮総連等への加担を止めるべき

元気高齢者の自立継続支援と要介護高齢者の介護度改善の実施と東京オリンピックに向けた都電荒川線軌道敷内の芝生化実現を求める

浅川　喜文（正論の会）

元気高齢者の自立継続策と要介護高齢者の介護度改善を実施せよ

問 水分・栄養摂取や運動を実践する活動を、元気高齢者が進んで取り組む事を高年者クラブ等を通じ実践する事。又、在宅・施設の要介護者の介護度改善実施事業所を評価し支援する施策を実現せよ。

答 水分摂取等は認知症予防等に効果があり、積極的に取り組む。要介護度改善は重要な視点であり、先進事例を調査し、介護事業者とも十分協議しながら検討を進める。

オリンピック開催を目指し都電の芝生化実現を住民組織と共に図れ

問 東京オリンピック開催は、都電の軌道敷内芝生化を図る絶好の機会だ。沿線住民や企業・団体と協議会を組織し芝生化の実現に取り組み、オリンピック開催機運を区民全体に盛り上げるのは今だ。

答 都電の芝生化実現の想いは議員と一緒。地域住民と進める協議会立ち上げは、芝生化とオリンピック開催機運醸成に有効と考える。芝生化実現に鋭意取り組む決意だ。

その他の質問項目

○地籍調査を30年で完結せよ

○天王公園を乳幼児や低年齢児が一層楽しめる公園に改修せよ

荒川区民の健康寿命と地球温暖化に伴う渇水期対策を問う

藤澤　志光（改革の会）

荒川区民の健康寿命を問う

問 今後、平均寿命は長くなるが、これに伴い健康寿命も引き上げないと社会保障費は増大する。荒川区でも高齢者が増え、医療費の増大、寝たきりや認知症等の介護費の増大が懸念される。区の健康増進計画では、健康寿命の目標値を5年間で1歳引き上げるとの重点目標を掲げているが、達成率はどうなのか。また、平均寿命の延伸がどんどん進むと、健康寿命の目標値とのかい離が生じるが、その差を縮めるように新たな目標値を定めて、健康寿命の延伸を図るべきと考えるがどうか。

答 東京都健康推進プラン21に基づく調査によると、荒川区の健康寿命は、東京都平均より低い状況であり、目標値は達成していない。その理由の一つとして糖尿病予備軍の割合が高いことがあげられ、健康増進計画の重点目標として「糖尿病対策で健康寿命を延ばす」ことを掲げている。また、第6期荒川区高齢者プランにおいても、健康寿命の延伸を図り、活動的な高齢者を増やしていくため、介護予防事業の充実・支援をすることとしている。区は今後も様々な対策を着実に行い、健康寿命の延伸を引き続き目指していく。

地球温暖化に伴う渇水期対策を問う

問 地球温暖化の影響により、渇水が増えると予測されている。東京都の水需要は、冬の降雪が少ない場合においては、今でも夏の渇水期に取水制限を強いられている。猛暑期にプールの水使用が制限され、使用禁止となる場合でも、荒川区では震災対策で掘っている深井戸で対応できると考えるため、対策を検討すべきと思うがどうか。

答 深井戸については震災対策用の消火用水として設置が認められている設備であり、目的外にくみ上げて使用することは、東京都条例による規制の観点から難しいが、渇水で水使用の規制が行われる際などの対応に関しては、関係部署とともに調査研究する。

その他の質問項目

○西川区長は3期目の区長会会長を目指すべき

○歯周病対策について

○色覚異常検査について

○震災対策について

○公職選挙法の寄附行為の禁止について

子育て支援のさらなる充実及び南千住の街づくりを問う

若林　清子（自民党）

子育て支援のさらなる充実を問う

問 「小1プロブレム」の問題については、幼稚園・保育園等と小学校との施設間相互の交流・連携を一層図り、滑らかな接続を目指すことが必要と考える。また、いかなる教育・保育施設で育っても等しく質の高い教育・保育を受けられるよう、区として就学前教育の指針を作成してはどうか。

答 「小1プロブレム」に対応するため、幼児と児童の交流の機会を増やすなどして、小学校への円滑な接続ができるよう取り組む。就学前教育の指針は、等しく質の高い教育・保育を受けられるよう、27年度中の作成を検討する。

問 病児・病後児保育事業の利用は保育園児に限定されているが、保護者が勤務し、保育が必要と認定された場合でも幼稚園に通うことが想定される。幼稚園児も利用できるようにすべきではないか。

答 病児・病後児保育は、保育を必要とする子どもを対象に実施しているが、保育の必要性があるという認定を受けた上で、幼稚園に通う子どもについても利用できるように事業者とも調整を図る。

南千住の街づくりを問う

問 都市計画道路補助331号線の完成で、災害時の安全性や利便性が向上し、周辺住民に大変喜ばれると考えるが、用地買収では、対象者に丁寧に説明し、気持ちに寄り添った対応を要望する。

答 これまで本事業に協力していただいた権利者に対し、丁寧に説明するよう心掛けてきた。今後も各対象者の気持ちに寄り添い、快く道路整備事業に協力してもらえるような体制を確保する。

問 補助331号線が整備されると、常磐線沿いの付け替え道路から補助331号線への合流は、両道路の高さの違いからできなくなると聞いている。不便が生じないよう、一方通行の道路の一部を相互通行にしてはどうか。

答 自動車で付け替え道路から補助331号線に出られなくなることへの対応策としては、区道の一定区間について一方通行規制を解除することが大変有効であるため、今後、所管警察署と協議する。

問 コミュニティバス「汐入さくら」車両のサイズアップと「さくら」双方向化の進捗状況を問う。また補助331号線を利用した新ルートや未整備の南千住二丁目を通るルートを整備してはどうか。

答 「さくら」逆回りルート拡充及び「汐入さくら」車両のサイズアップは、3月中の運行開始に向け準備している。新たなルートの整備は、運行事業者とともに、ニーズや採算性を踏まえ取り組む。

その他の質問項目

○地球温暖化防止に向けた取り組みについて

○奥の細道千住あらかわサミット開催に関連して